

岐阜大学医学部附属病院広報誌

うぶね

うぶね[鵜舟] 2019年8月発行

Vol.41

Gifu University Hospital

特 集

病理診断科 宮崎 龍彦

スタッフ紹介

細胞検査士 中川 篤

トピックス1

ナース・オブ・ザ・イヤー授賞式

トピックス2

多数傷病者受入訓練など

お知らせ&NEWS

七夕祭など



今回の表紙は病理部の皆さんです!

特集 病理部 病理診断科長 宮崎 龍彦

臨床各科から提出される病理検体に対して、速やか且つ確実な病理診断を提供することで、病院全般の円滑で効果的な医療行為に貢献することをモットーとしています。

そのために、病理業務全般にわたるスピードと精度のたゆまない改善の2点にこだわりを持った運営を心掛けています。同時に、貴重かつ豊富な情報を持つ病理検体を一元的に管理保管し、学生・研修医・臨床検査技師の教育や、臨床研究にもダイナミックに活かしていくことも重要と考えています。

若手医師も刮目する 最新技術をもちいた 高精度な診断

岐阜大学医学部附属病院 病理部 病理診断科長

みやざき たつひこ
宮崎 龍彦

PROFILE

愛媛県松山市出身／1990年愛媛大学医学部卒業
卒業後に愛媛大学医学部病理学第二講座に助手として着任、病理診断・研究・教育活動を展開。博士号取得。2006年、助教授昇任。2007年に准教授。2007年から2008年にドイツ・ハイデルベルク市にあるドイツ国立癌研究所に研究留学。帰国後原職復帰。2013年9月に岐阜大学医学部附属病院病理部に異動、同10月より臨床教授、2015年4月より病理診断科長。現在に至る。
膠原病・自己免疫疾患、特に難治性血管炎の診断・研究では日本をリードする一人。

病理診断科って何をしているの？

病理は縁の下の力持ち

私は、病理診断科を担当しています。病理の医師が患者さんと直接接する機会はほとんどなく、多くの皆さんは病理ってなにをすることか？という疑問をお持ちだと思います。

病理診断とは、臨床医が採取した患者様の体の一部から顕微鏡標本を作製し、形態学的な特徴や特徴的な分子の同定などを通して病気の最終診断をつける作業です。ここでいう体の一部とは、手術で大きく切除してきた臓器全体のこともありますし、生検で採取してきた僅かな組織のこともあります。また、脱落してきた細胞を対象に良悪性のスクリーニングを行う細胞診という手法もあります。

病理診断は医師が行う医行為として規定されており、病理診断科は内科・外科と並んで基本的な19診療科のひとつに数えられ、病理専門医の制度も定められています。

病理形態学的診断は、最も安価に最終診断に行き着く手段です

病理診断では、まず採取された組織の肉眼所見を詳細に観察し、診断に必要な部分を切り出し、それを数ミクロンの薄さに切ってスライドガラスに張り付け、種々の染色を行って標本とし、これを病理医が観察して診断を下します。一般的な染色による形態学的な診断は、もっとも安価に病気の最終診断に行き着く手段の一つです。

最新の技術による、さらに精度の高い診断を行っています

形だけでは診断に行き着かないことも多く、その切片上の組織に、病気の診断や治療方針決定にかかわる特定の物質がどれくらいあるかを確かめるために免疫組織化学という手法を使ったり、特定の遺伝子の発現を確かめるために in situ ハイブリダイゼーション※という手法をつかったりして、極めて精度の高い診断を行います。

さらに、今年から保険収載された「がんゲノムパネル検査」（がん細胞がどの遺伝子の変異によってがんとなったのかを網羅的に調べる方法）をいち早く取り入れ、確実に効く薬を探し出すことにも大きく寄与しています。

※組織や細胞において、特定のDNAやmRNAの分布や量を検出する方法。



若手医師の育成にも力を注いでいます

これらのテクニックを教育に活かし、病理形態学的所見との対比、そして形態学の修練のために10人が一度に検鏡できるディスカッション顕微鏡システム、さらに4Kの解像度を持つデジタル顕微鏡カメラと、60インチの4Kディスプレイを組み合わせた最新のカンファレンスシステムを駆使し、若手が増えて部屋に収まらないほどの人数が参加するカンファレンスや勉強会でも、参加者みなが高解像度の顕微鏡画像を共有してディスカッションできるようになりました。

このような充実した業務内容が功を奏してか、これまで敬遠されていた若手が病理診断学を志して毎年集まるようになり、今後も東海地区における病理医の育成に中核的な役割を果たすことができそうです。



東海地区の大学病院で唯一病理外来を設置しています

また、東海地区の大学病院では唯一「病理外来」を設置し、病理診断の内容を詳しく知りたい、もしくはセカンドオピニオン希望の患者様に対応できるようにしています。

良く学び、よく遊べ！のすすめ

私は病理学以外に、音楽にも結構真面目に取り組んでいます。中学からトランペットを始め、大学時代はオケに所属していました。下手っぴでしたが、諦めずに活動を続け、ドイツ留学中には、Akademische Philharmonie Heidelbergのオーディションに合格して団員となり、現在でも客演奏者として時々参加しています。

また、日本病理学会に「部活」として、日本病理医フィルハーモニーを結成し、トランペット奏者および指揮者として活動しています。さらに、岐阜大学医学部室内合奏団でも指揮者を務めています。仕事で疲れた心を癒やす最高の方法と思っています。





極少数の細胞でも 異常を見逃しません

岐阜大学医学部附属病院 病理部
主任臨床検査技師 細胞検査士

なかがわ あつし
中川 篤

細胞検査士（スクリーナー）とは

人体を構成する最小単位は細胞ですが、その細胞は多種存在します。細胞診は剥離した細胞をプレパラートに塗抹して染色することにより行います。顕微鏡で見ると悪性（がん）細胞や異型細胞は、その正常な細胞とは違う形、色などで存在します。細胞検査士はその正常とは違う細胞を、見逃さず探し出し病変を推定する仕事をしています。子宮がん検診をはじめ、喀痰や尿、体腔液中の腫瘍細胞の有無、その他乳腺、甲状腺、頭頸部、脾臓等の消化器分野まで幅広い材料に対して行われています。

細胞検査士になるためには

臨床検査技師の資格を取得後、1年間以上細胞診業務に従事した者、細胞検査士養成所あるいは養成コースのある大学の卒業または卒業見込みの者が、日本臨床細胞学会が認定する試験を受けることができます。試験は毎年1回行われ、1次試験と2次試験があり最終的な試験合格率の全国平均は約25%と難易度が高いです。



細胞検査士インタビュー

Q 細胞検査士という職業を知ったきっかけを教えてください。

A 学生のとき病理学の先生からお聞きました。認定試験は合格率が低く難しい試験というお話でしたので、当初は自分には無縁なものと思っていました。

Q 細胞検査士として働く上でのやりがいを教えてください。

A がん細胞や異型細胞を早期発見でき、少しでも患者様のお役に立ててもらえた時。

Q 細胞検査士の一番大変なところはどこですか。

A 一日の大半が顕微鏡を見ている仕事ですので、地味ですが体力的疲労が強いところです。

Q 目標・抱負を教えてください。

A 今後も、一人でも多くの人が細胞検査士認定試験に合格できるよう、その手助けができればと思っています。院内スタッフ（細胞検査士）のレベルも、もっともっとアップできるよう努力したいと思っています。

Q 細胞検査士を目指す方へアドバイスをお願いします。

A 非常に難易度の高い試験ですが、しっかり理解できれば必ず合格できる試験だと思います。病理検査に配属となった時には、是非チャレンジしてみてください!!

細胞検査士になってから

難関を乗り越えて、無事認定試験に合格し細胞検査士となっても、ホッとしてはられません。他職種同様、それからが勉強、勉強の毎日です。経験や知識を豊富にしていかなければなりません。その一つの手段として、病理部では毎週水曜日の午後5時30分より細胞診・病理組織症例検討会を開催しております。毎回3症例についての細胞像と組織像を対比し病理医と技師でディスカッションを実施しています。また、この検討会には他の施設より、細胞検査士認定試験の受験者も同席することがあり、試験合格への手助けとして利用いただいています。お陰様で岐阜大学医学部附属病院病理部では現在通算700回以上の検討会を開催しています。



ジムカーナって知っていますか？

舗装された路面に、任意に設定されたコースを競技車両が1台ずつ走行し、タイムを競うモータースポーツです。本格的な日本自動車連盟（JAF）主催の全日本選手権から、どんな方でも楽しめるローカルな大会までいろいろあります。右の写真は十数年前、全日本選手権に出場していた時のものです。現在はぼちぼち楽しんでいます。

ナース・オブ・ザ・イヤー授賞式

『ナース・オブ・ザ・イヤー 今年最も輝いた看護職員』は、表彰を開始して本年度で13年目を迎えました。この賞は、前年度1年間に看護師が看護活動の様々な分野で人一倍努力し、患者さんの看護や業務上の改善等に貢献したことを同僚間で認め、看護部内で審議の上選考するものです。看護師には、キャリアに応じた役割課題がありますが、それ以上に特別な活躍をした看護師を各部署が選出し、選考の上表彰します。

今回は、約580名の看護師から2名の看護師が選ばれました。2名は、いずれもリーダー看護師であり後輩のモデルとなる人材です。部署における看護の質向上のために、課題に真摯に向き合い、継続して取り組んだことを評価しました。

二人には、今後のさらなる活躍を期待しています。



東4階(産婦人科)病棟

児玉 嗣未 Tsugumi Kodama

今回、この賞を受賞することができたのは、今まで私に関わってくださった、病棟スタッフや医師、患者さんといった多くの方々のおかげだと思っています。周産期メンタルヘルスケアの取り組みは、チーム立ち上げ当初から携わらせていただき、産後うつスクリーニングシステムの構築と保健指導の運用を開始し、学会発表することができました。学会までの道のりは大変でしたが、患者さんのためにより良い看護を提供するためにはどうしたら良いのかを検討し、システムの運用を開始し、その成果を研究発表できたことは、とても良い経験になりました。この学びを部署に還元し、これからも部署のスタッフ皆で成長し、より良い看護の提供をしていきたいと思っています。



新生児集中治療部

笹川 亜沙子 Asako Sasakawa

このような賞を頂き、大変嬉しく思います。昨年度は継続教育係のリーダーとしてスタッフの教育全般に携わりました。シミュレーターを用いた学習会の企画・運営、eラーニングの作成、勤務交替者の支援などを行い、リーダー看護師育成においては個別に学習計画を立案するなど個人に合わせた支援を行いました。また、ベッドサイドカンファレンスの運営方法を見直し、患者さんに合わせた看護が提供できるようになりました。私一人の力でできたことではなく、係のメンバーや管理職の方々の協力もあり何とか役割を果たすことができたと思います。これからもNICUスタッフで力を合わせて、赤ちゃんご家族に寄り添った看護を提供できるよう頑張ります。



多数傷病者受入訓練



多重交通事故を想定した多数傷病者受け入れ訓練を実施しました。この訓練は、地震・台風時の広域災害、火災や多重交通事故のような局所災害時に多くの傷病者を受け入れる場面での、病院における初動体制整備・確認に重点を置き、関係機関との連携や、本院の基幹災害拠点病院としての対応能力向上を目的として毎年実施しています。

当日は、医学科4年生が医師役、患者役、家族役、報道役として参加し、医療チームの立ち上げから診療、記者会見まで一連の模擬治療活動を当院医療スタッフと共同で行いました。

薬剤部、放射線部の参加も定例化してきており、多職種連携をみずえた訓練の形ができつつあります。反省会では参加した病院スタッフからは情報共有や傷病者の流れを確認することの重要性が反省点として挙げられました。医学生からは現場で重要な決断を迫られる場面があることを痛感したり、学んだ知識・技術を将来に活かせるような動機付けになったという感想が述べられました。最後の講評では小倉高次救命治療センター長より多職種連携の重要性や、継続した訓練実施の必要性について触れられ、参加者全員への奨励がありました。

当院は、今後も災害時に備えた実地訓練を重ね、地域の皆さんが安全・安心に過ごせるよう努めてまいります。



心肺蘇生講習会



岐阜大学保育園「ほほえみ」で心肺蘇生講習会を開催しました。

危機管理意識の向上と救命技術の習得を目的とし、水難事故が増える時期を前に、日頃から救命救急に携わっている医師と看護師から、保育士約14名に対し心肺蘇生講習会を開催しました。成人を対象にしたBLS (Basic Life Support)に加えて、小児・乳児のシミュレーターを使用して胸骨圧迫・人工呼吸についてトレーニング等を行いました。定期的に救命講習会を行うことで「救える命がある」と、今後もこの取り組みを継続していきたいと思っています。



心肺蘇生講習会 第11回「全国でPUSH!」



「全国でPUSH」運動とは、8月10日の『健康ハートの日』にちなみ、心肺蘇生法の普及を啓発する運動です。市民を対象にした心肺蘇生法を短時間で学ぶことができる講習会

"PUSHコース"を全国の会場で開催し、誰もが心肺蘇生ができてAEDが使えるようになってもらうことを目的としています。

今年は8月5日(月)に岐阜大学病院1階イベントコーナーで開催しました。小中学生を中心に約20名の皆さんが、簡易心肺蘇生トレーニングキット「スクーマン」などを使って楽しく胸骨圧迫やAEDの使用方法を学びました。

心臓突然死は誰にでも起こりうる事です。目の前で倒れた大切な人を助けることができるのは、その場にいたあなただけです。一人でも多くの人が助かるよう、今後も学校や地域で心肺蘇生の短時間講習会を開催していきますので、皆様も機会があればぜひご参加ください。

看護補助者募集！

岐阜大学病院では、患者サービスの一層の向上を図り、地域住民のニーズに応える病院にするために、看護補助者を募集します！

詳しくは、総務課人事労務係までお問い合わせください。

TEL.058-230-6055

業務内容 ●車椅子による搬送 ●食事介助・清拭・足浴
●患者のシーツ交換 他

給与／時給1050円

勤務時間／週30時間勤務(1日6時間、週5日勤務)



ボランティア募集！

あなたも参加してみませんか？当院で活躍するボランティアさんは、総勢29名！特別な資格を持っていなくても患者の役に立ちたいと思っている方ならどなたでも可能です。

詳しくは、病院ボランティア担当係までお問い合わせください。

TEL.058-230-6106

内容 ●受付、受診科等への案内及び誘導 ●患者搬送の介助
●車椅子、歩行器等の清掃及び点検

時間／平日8:30～17:00までの内、約3時間程度(時間応相談)

場所／病院玄関、外来フロア関係



七夕祭

たなばたまつり

TANABATA

6/22▶7/7

病院1階イベントコーナーでは(一財)誠仁会主催による七夕の飾りつけが行われました。短冊には様々な願いごとが書かれており、入院患者さんやご家族の願いで華やかに彩られました。

アクセスマップ

自家用車でお越しの方は、外来患者駐車場が約600台ありますのでご利用下さい。(24時間利用可)
※大学病院前交差点よりご来院ください。

【病院へのアクセス】

鉄 道	JR	東海道本線 「岐阜駅」で下車	
	名古屋鉄道	名鉄本線 「名鉄岐阜駅」で下車	
バ ス	岐阜大学・病院線	約30分	320円
	直行便清流ライナー	約25分	
	岐南町線	約40分	
タクシ	JR岐阜駅 名鉄岐阜駅	約20分	約3,000円

【駐車整理料金】

区 分	駐車時間(入構時間)による料金				備 考
	30分まで	60分まで	60分～90分	90分～24時間	24時間～
外 来 患 者	無 料		100円		加算金額 500円/24時間
・入院日当日の患者及びその付添者 ・退院当日に来院したその付添者 ※入院期間中継続駐車している 場合の退院日は含まない。	無 料		100円		加算金額 500円/24時間 ※入院期間中の 駐車は料金が発生 しますのでご 遠慮ください。
一般外来者 ※面会・お見舞い 他	無 料	200円		加算金額 100円/1時間 (上限500円/24時間)	加算金額 500円/24時間

● 認証機設置場所／・平日(8:30～17:00)1階会計窓口・入院センター・退院窓口・その他の時間1階夜間受付
● 事前精算機設置場所／・1階エントランスホール・1階時間外出入口